

平成29年『秋季地区推進連絡会』開催

平成29年10月2日に釜利谷地区センターにおいて、釜利谷地区の秋季地区推進連絡会が開催されました。

この連絡会は、釜利谷地区の課題を地域全体で共有し、区役所や地区社協、地域ケアプラザ等を交えて意見交換をする場として、毎年、開催されるものです。

当日は國原区長をはじめ区役所職員、金沢区社会福祉協議会職員・地域ケアプラザ職員のほか、金沢消防署、金沢警察署、中学校からも校長先生の参加を得、渡邊地区社協会長ほか地区社協役員、自治会・町内会会長などの合計50名が参加しました。



今回の連絡会では、國原区長より「地域課題の解決に向けた地域の取り組みと区の支援」についての説明があり、続いて誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる街を目指し、行動していくための計画である『第3期地域福祉保健計画・地区別計画』（期間：平成28年～32年）の29年度上半期振り返りとして、各部会の実績が報告されました。その後、今回は「子育て・青少年育成についての取り組み」をテーマに、6グループに分かれて活発な意見交換が行われました。最初に「子育て連絡会」「寺子屋小泉塾」「スポーツ推進委員と青少年指導員の協働活動」について報告があり、グループごとの意見交換では次のような意見がありました。



- ・通学時の見守りで、挨拶運動を大学生のボランティアとともに展開しており、子供達も主体的に「あいさつ」するようになってきた。
- ・こどもは幼少時から感謝の気持ちや思いやりを育み、挨拶を習慣とすることが大切で、そのためには多世代で交流することが効果的である。
- ・地域での更生保護活動が重要。過ちを犯した人たちを地域で温かく受け入れることが大切であり、そのためには

防犯パトロールなどを通じて、子供の頃から挨拶ができる関係を地域で作っておくことが不可欠である。

- ・子供たちの防犯意識を高めることが子供の育成につながり、親に話すことで家庭内でも防犯意識アップにつながる。
- ・青少年育成のための様々な取り組みを実践しており、サロンなども充実している。一方、運営する側の高齢化や、参加・運営人数の減といった課題も多い。
- ・これからは自治会町内会を通じ、子供会との連携を今以上にとり、若いお母さんたちとコミュニケーションをとっていききたい。さらに踏み込んだ付き合いをすることで初めてお母さん達の本音が引き出せるのでは無いか。

地区推進連絡会は年2回行われ、今回は3月末頃に開催される予定です。

第67回 『社会を明るくする運動』 釜利谷地区大会 会場：釜利谷地区センター

第67回「地区社明大会(通称)」が昨年10月28日(日) 釜利谷地区センターにおいて、ご来賓6名をはじめ76名の方々のご出席を得て盛大に開催されました。



渡邊地区社協会長挨拶、来賓の挨拶に続き講演会に入りました。

今回の講演は、講師に神奈川県立工科大学基礎教養教育センター講師 鍋倉早百合先生をお迎えして「非行から更生へ ～地域における理と対応～」と題してお話をして頂きました。

講演の内容は以下の通りです。

中学生時代は模範的な子どもを演じていた。級長もやり、スポーツでも頑張って、一人で子育てをしている母を喜ばそうとしていた。原宿あたりに遊びに行き、竹の子族に憧れていたが、このころはまだ、人に対して不信感も持っていなかった。

高校は親の強い意向で進学先を決めた。しかし自分に目標がなかったためにエネルギーが変な方向にむかってしまった。暴走族に入り、やくざの事務所に出入りし、目の前で、覚せい剤を打たれている人も見た。このような自分の体験を通して、罪を犯して刑を受けた人が、更生できるかどうかは、

① 自分の居場所があるかどうか

② 自分を信じてくれる人が周囲にいるかどうか、の二つにかかっていると考えている。

いくつかの事例を引いてお話したい。

1. 子育てをめぐる環境について

気持ちちが和み心温まる場であった家庭・家族が変化。虐待が増加する一方でペットを家族扱いする。無条件で相手を承認する母性性と社会の規範を教える父性性。一人の人間の内面に両方存在している。子育ては母性性(保護)⇒父性性(干渉)という順序が大切。しかし、結婚を望まない若者や子育てが負担(不安ではなく)という親が増えている。一方、虐待を受けて児童養護施設に入所する子どもが増え、神経症と精神的な疾患の間のパーソナリティ障害の子どもも増えている。

2. 子どもの変化

現在の子どもの家庭ごっこ遊びで一番人気がないのは父親役で、人気はペット役。学校の保護室では精神的な対応も求められる。居場所は家庭ではなくコンビニ。

3. 思春期に行きづまる子ども

人間の精神発達に飛び級はない。エリクソンの理論によれば、人間は関係の中で発達し、亡くなるまで精神発達を続ける。乳児期に愛された人間ほど自立が早い。無条件の受容である母性性が基本的信頼感を獲得させる、その上で早期幼児期の自立につながる。

◎神戸のA少年事件

母との関係性が裁判で重視された。「お母さんから自分を守る」と盛んに述べる。人を痛めつけることによって快感を得る。性的中枢と攻撃中枢が未分化。愛情が分化をさせる。

◎足立区 コンクリート詰め女子高生殺人死体遺棄事件

犯人4人の少年たちの家庭は女性関係で夫婦不仲。子供たちの心に母性性が機能していない。すでに刑を終えて出所しているが反省をしていない。再犯を繰り返したり引きこもったりしている。 以上



金沢動物園スペシャルツアー

地区社会福祉協議会

昨年11月18日(土)、今回も小学生だけではなく多世代交流とし大人も参加。あいにくの小雨模様でしたが、レクチャールームでの動物園の羊の毛を使った“ヒツジバッジ”を作りました。針を折る人もいましたが楽しい体験をしました。その後、羊たちに“エサやり”を体験し終了となりました。

動物園の方々には計画の段階からお世話になり有難うございました。区役所、区社協、ケアプラザの方々のご協力にも深く感謝いたします。



さわやか スポーツフェスティバル

青少年指導員会・スポーツ推進委員連絡協議会

昨年8月27日(日)青少年指導員が釜利谷地区センターの前庭で毎年開催する『夏休み子供お楽しみ会』に併せ、同体育室で、スポーツ推進委員会の『さわやかスポーツフェスティバル』を、企画・実施しました。

さわやかスポーツは小さい子供からお年寄り、障がいのある方まで楽しくできるスポーツです。1時間半の短い間でしたが前年以上に参加者があり、多くの方々に楽しんでいただきました、これからも『さわやかスポーツ』をたくさんの方々に体験していただきたいと思います。



第65回 敬老芸能大会

地区連合町内会

敬老の日に開催された恒例の『敬老芸能大会』では、たくさんの芸達者の皆様やプロ歌手のステージ、お楽しみ抽選会と楽しいひと時を過ごしました。参加者は833名でした。



社会を明るくする運動『ミニ集会』

更生保護女性会

昨年11月8日、宮ヶ谷町内会館にて、義務教育小中一貫校「西金沢学園」と釜利谷地区住民による情報交換会を開催し、38名の参加がありました。小中9年間の連続教育は国際社会で活躍する子供の育成と心の関心を高めることを目指しています。校長、副校長、児童支援専任の先生方も、各種の地域活動に熱心に耳を傾けてくださいました。



釜利谷地区中学校 百人一首大会

青少年指導員会

新春恒例の中学生百人一首大会が今年は四十回目を数え、会場を西金沢学園に移し1月8日の成人の日で開催されました。

結果は 優勝：西金沢学園 Cチーム
準優勝：釜利谷中学校 Aチーム
第三位：西金沢学園 Bチームでした。



『勉強会』のご案内

シニアクラブ部会

シニア連釜利谷第二支部では生涯学習を目的に、西釜利谷ことぶき大学と称する「源氏物語」の勉強会を開催しています。毎月第1火曜日の午後、西金沢ケアプラザにて講義、参加費は半年で1,800円どなたでも参加できます。問合せ：青木(Tel:783-8411)まで



平成29年度 事業実施報告

月	活 動 名	参加者数	場 所	実 施 部 会 名
5	釜利谷地区社会福祉協議会総会	25	釜利谷地区センター	地区社協
6	更生保護女性会会員のつどい	23	釜利谷地区センター	更生保護女性会
	一人暮らし高齢者の一斉訪問(613名)	33	各戸訪問	民生委員・児童委員協議会
	子育て連絡会・総会	23	釜利谷地域ケアプラザ	釜利谷子育て連絡会
7	ラジオ体操講習会	60	釜利谷地区センター	保健活動推進委員会
	夏季球技大会(ソフトボール・ミニバスケット)小学生対象	200	釜利谷小学校	スポーツ推進委員連絡協議会
	愛のパトロール(非行防止)	14	釜利谷地区各公園	青少年指導員
8	さわやかスポーツフェスティバル	200	釜利谷地区センター	スポーツ推進委員連絡協議会
	日帰り研修会	31	釜利谷地区介護施設	民生委員・児童委員協議会
9	第65回敬老芸能大会	833	釜利谷地区センター	連合町内会
	親子すくすく広場(未就学児)	80	釜利谷地区センター	地区社協(子育て連絡会・民児協保健活動推進委員会)
	親子de体操	28	釜利谷地域ケアプラザ	保健活動推進委員会
10	秋季地区推進連絡会	50	釜利谷地区センター	地区社協・支援チーム
	箱根恵明学園視察	24	箱根恵明学園	更生保護女性会
	社会を明るくする運動「地区大会」	76	釜利谷地区センター	地区社協
11	社会を明るくする運動「ミニ集会」	38	宮ヶ谷町内会館	更生保護女性会
	金沢動物園スペシャルツアー	91	金沢動物園	地区社協
	保護司・児童支援専任・主任児童委員の意見交換会	12	金沢小学校・高舟台小学校	保護司・主任児童委員
	保護司・更生保護女性会の地域別意見交換会	9	高舟台小学校	保護司会・更生保護女性会
12	一人暮らし高齢者の一斉訪問(618名)	33	各戸訪問	民生委員・児童委員協議会
	講演会「怒鳴らない子育て」	28	釜利谷地区センター	釜利谷子育て連絡会
	手話ダンスとミニコンサートを楽しむ会	79	釜利谷地区センター	保健活動推進委員会
1	新春百人一首大会(中学生)	50	西金沢学園	青少年指導員
	親子音楽会	86	釜利谷地域ケアプラザ	保健活動推進委員会
	ホイール若菜講演会	29	釜利谷地域ケアプラザ	ホイール若菜
2	簡単ストレッチ講座		釜利谷地区センター	保健活動推進委員会
3	卒業記念球技大会(ソフトボール・ミニバスケット)小学生対象		釜利谷小学校	スポーツ推進委員連絡協議会
	春期地区推進連絡会		釜利谷地区センター	地区社協・支援チーム
	一人暮らし高齢者一斉訪問(660名)	33	各戸訪問	民生委員・児童委員協議会
定例	釜利谷保育園園庭ほっとサロン 毎週木曜日		釜利谷保育園	釜利谷子育て連絡会
	釜利谷親子ほっとサロン(子育て支援)毎月第三月曜日		釜利谷地域ケアプラザ	釜利谷子育て連絡会
	ホイール若菜(障がい児支援)小学生の送迎			ホイール若菜
	地区社協 三役会 役員会(毎月開催)・広報委員会		釜利谷地区連合町内会館	地区社協

【釜利谷の今昔】

『鎌倉街道と釜利谷古道』

鎌倉街道を一言でいうと鎌倉から放射状に延びる幹線道路のことです。ただこの名称は後代のもので「吾妻鏡」には某道と記されています。このうち北条実時の居館のあった六浦と鎌倉を結ぶ道は居館の名前から「蒲谷殿」(かばやでん)と呼ばれていました。

白山道は蒲谷殿と金沢北条氏の本拠地(称名寺付近)を結ぶ道で、白山道磨崖仏の脇を抜けて山道に入る古道です。現在は関東学院大学や野村住宅によって道が分からなくなっていますが、昭和二十年代までの地図には尾根道を示す破線がしるされています。

新緑の季節に訪れると、この道を歩いた昔の旅人の姿が思い浮かび、タイムスリップした気分で桜の花を満喫できます。

白山権現社の前から分かれて鼻欠け地藏に抜ける尾根道もまた高舟台住宅の開発によって状況が変わってしまいました。白山道公園に至る登り斜面には、古を忍ばせる風情が残っています。

六浦道は仁治二年(一一四一)建設に着手したことが「吾妻鏡」に記されています。鎌倉の十二所から朝比奈切通しを抜けて六浦湊に至るこの道は、武家の都として急成長する鎌倉の消費を支える産業道路として整備されました。ただ、六浦道は瀬戸で海に遮られていました。北条貞顕が本拠地金沢の価値を高めるため、家を継いで間もなく瀬戸橋を造り(二二〇六)金沢と鎌倉を直結させたのです。

(田中宏一)